

# 北海道ICT 人材育成協議会

～北海道におけるICT人材育成を推進する  
産官学連携による学習機会の提供～

## 代表団体

一般社団法人オープン教育研究所

## 構成員

北海道教育庁

北海道大学

オープンエデュケーションセンター

ライフイズテック株式会社

## 発表者

一般社団法人オープン教育研究所  
代表理事 重田勝介

(北海道大学オープンエデュケーション  
センター 副センター長・准教授)

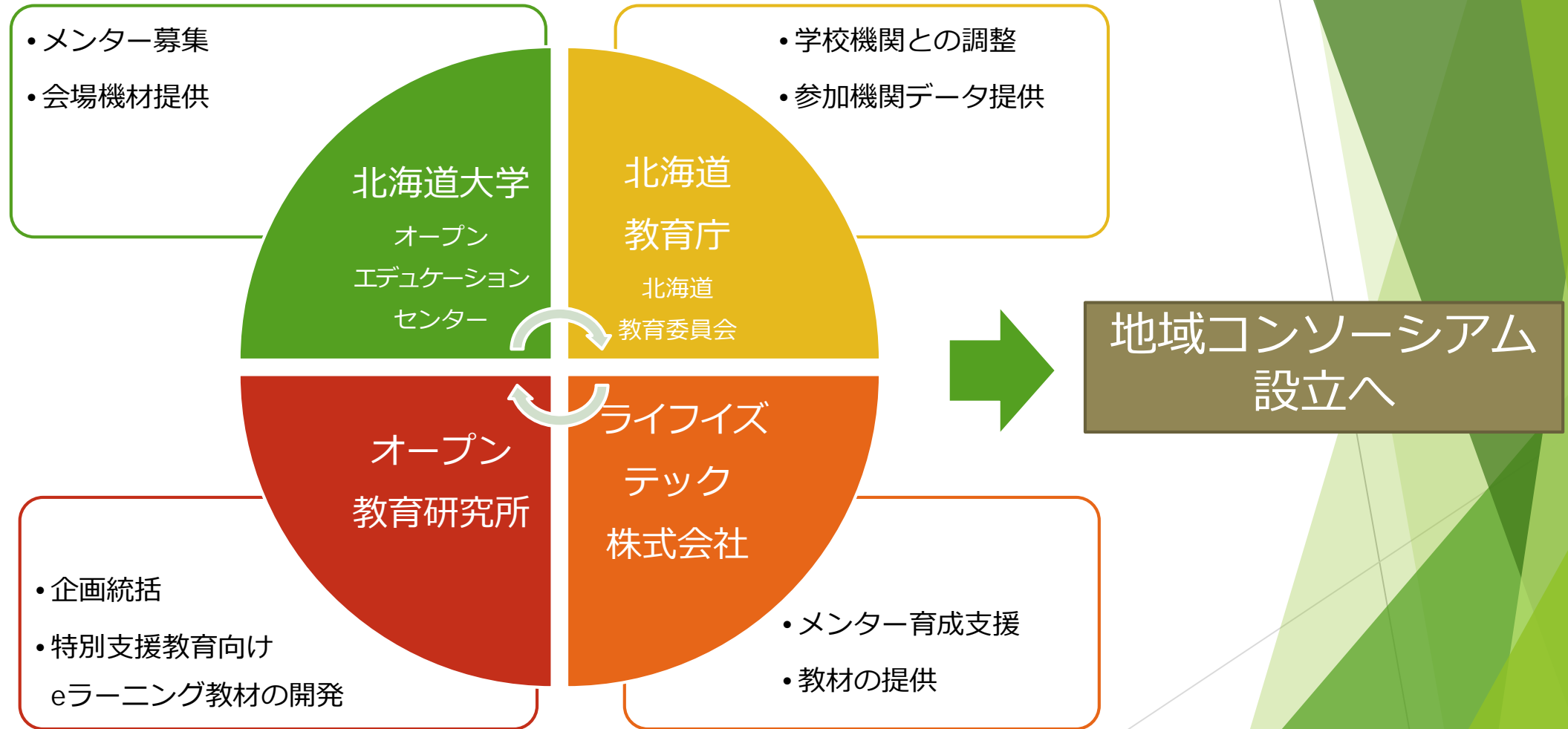
# 提案の特徴

- ▶ 北海道札幌市および近隣地域において地方創生を支える若手のICT人材育成を推進
- ▶ 高校生等を対象とするインクルーシブ教育を交えた教育プログラムを開発
- ▶ 産官学連携による地域ICTクラブの運営を持続的に継続するための地域コンソーシアムを設立

# 取り組みの意義

- ▶ 北海道における農業・観光等におけるICTを活用した新しい産業創出への期待
  - ▶ 若手人材育成の育成が望まれる
- ▶ 初等中等教育においては社会インフラとなるWebサービスの開発や構築に関わる学習機会が乏しい
  - ▶ 新産業創出の基礎となる知識・技術の習得
- ▶ 地域で障がいのある若手人材の社会参加を伴った就業確保も課題
  - ▶ 健常者と障がい者が共に学ぶインクルーシブ教育の重要性
- ▶ 地域が一体となった産官学の取り組みが不可欠

# 「北海道ICT人材育成協議会」の組織



北海道におけるICT人材育成を推進する産官学連携

# 実施スケジュール

7月 協議会の設立 ICTクラブの組織

8月 メンター研修の企画立案 教材作成

9月 メンター研修の実施 (2回)

10月 地域ICTクラブの開設

11月～12月 地域ICTクラブ 第1期活動開始

2月 クラブ間をつないだ成果発表会の開催

# ICTクラブの開設と準備

- 7月 協議会の設立 ICTクラブの組織
- 8月 メンター研修の企画立案 教材作成
- 9月 メンター研修の実施 (2回)

- 10月 地域ICTクラブの開設
- 11月～12月 地域ICTクラブ 第1期活動開始

- ・ 地域ICTクラブの会場  
北海道大学または高等養護学校  
および工業高校
- ・ 講座の運用  
開催地近隣のサポーターをICTクラブ  
管理者に任命
- ・ アンケート等による実施状況の把握

複数拠点での地域ICTクラブ設置

北海道大学

成果発表会の合同開催  
メンターの交流

工業高校

高等養護学校



# 開設コース（1）Webデザインコース

## ▶ 目的

- ▶ ウェブページ製作の基礎を学び、自分で設定したテーマに沿ったウェブページを製作できるようになることを目標とする

## ▶ 方法

- ▶ ライフイズテックの「MOZER」を使って、HTMLおよびCSSの知識を実践的に学ぶ。学習方法はMOZERを使った自学自習および共同作業
- ▶ 生徒は自学自習で基礎知識を習得したのち、数人のグループでテーマを設定し、ウェブページを製作する。適宜メンターが学習支援を行う
- ▶ テーマは生徒の興味に基づいたウェブページ制作

# 開設コース（2）デジタル表現コース

## ▶ 目的

- ▶ コンピュータを使った画像表現の基礎を学ぶ。Adobe社の製品を使い、自分で撮影した画像やインターネット上で利用可能な素材集を使い、テーマに沿った表現をポスターやウェブサイトで行えるようになることを目標とする

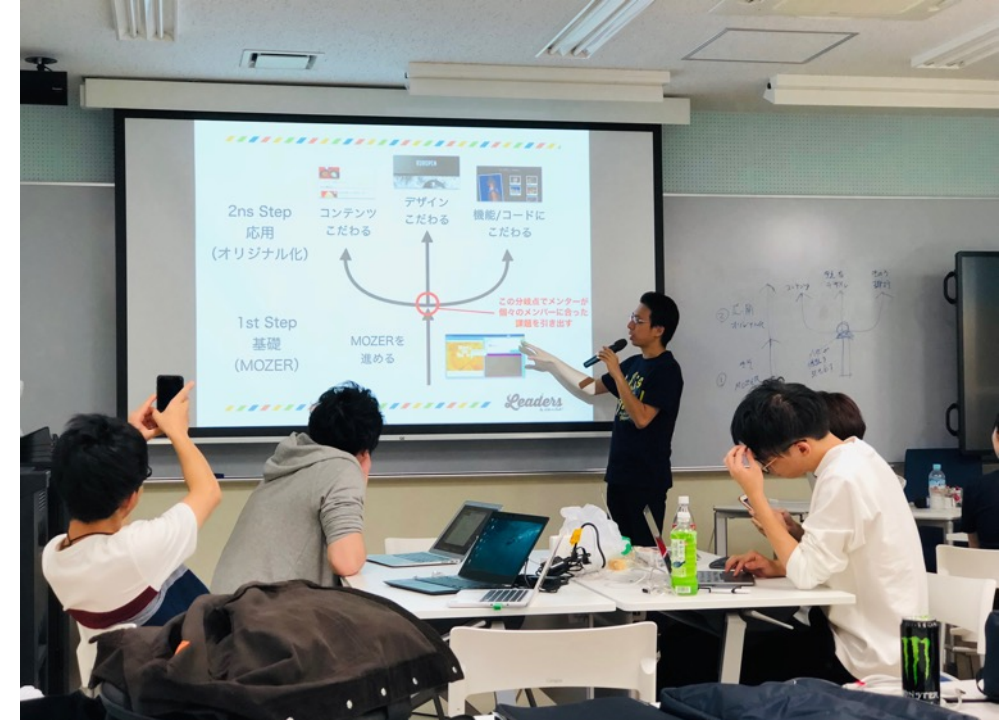
## ▶ 方法

- ▶ Adobe社の製品を使って、画像表現の知識を実践的に学ぶ。学習方法はメンターによる授業および共同作業
- ▶ 生徒は自学自習で基礎知識を習得したのち、数人のグループでテーマを設定し、ウェブページを製作する。適宜メンターが学習支援を行う
- ▶ テーマは生徒の興味に基づいたウェブページに用いる素材作成



# メンター研修の実施 (2018年8月と9月)

- ▶ 北海道大学の大学生から募集
- ▶ 小中学校向けのプログラミング教育支援の経験者
  - ▶ プログラミング教材「MOZER」の体験と学習支援の方法
  - ▶ 開発環境「Brackets」の体験と学習支援の方法
  - ▶ メンターとして求められる知識と技能
  - ▶ クラブの「場づくり」に関するノウハウ



# 地域ICTクラブの開催スケジュール

場所	参加者	開催時期	備考
琴似工業高校	情報技術科2年生、14名	11/13 11/20	3年生で行う課題研究のレベルアップに繋げた
岩見沢高等養護学校	8名	11/27 12/18	肢体不自由もしくは若干の発達障がいのある生徒
北海道大学	22名	12/15 12/22	大学近隣の市立および私立の高校生が参加

10月に琴似工業高校および岩見沢高等養護学校では体験会を開催し、学校関係者への理解を求めた

# ICTクラブの実施 (2018年11月～12月)

- ▶ 道内高校での実施においては、生徒を6名のグループに分け1人のメンターが学習支援
- ▶ 特別支援学校での実施においては、1、2人に1人のメンターが学習支援し生徒の状況に応じた対応を実施





# 成果発表会の実施 (2019年2月)

- ▶ 生徒が自身の興味に応じて作成したオリジナルサイトを発表  
(学校の紹介や趣味の紹介)
  
- ▶ 学校間をビデオ会議 (Zoom) で接続した成果発表会を実施



# 自走化に向けて

- ▶ 道内高校および特別支援学校におけるICTクラブ開設の可能性と課題が実証的に示された
  - ▶ 適切な内容・レベル間の設定による円滑な実施
  - ▶ メンターとしての大学生の能力
  - ▶ 放課後の時間確保に工夫が必要
- ▶ 地域コンソーシアムへの企業・自治体等の参画による持続性の確保
- ▶ 多様な障がいをもった生徒への対応手法の検討と支援手法の開発